

ブラジル福井県文化協会創立70周年記念式典

1 日 時 令和6年9月1日(日) 午前10:00～ (現地時間)

2 場 所 ブラジル サンパウロ州サンパウロ市 (在伯宮城県人会館)

3 福井県からの参加者

・中村保博 副知事のほか、宮本俊 議長をはじめとする県議会代表団、福井県立大学 岩崎行玄(ゆきもと) 学長ら14名。

4 内 容

・「ブラジル福井県文化協会」は、ブラジルの福井県人会として、本県からの移住者の定着安定を図り本県とブラジルを結ぶ唯一の機関。

・現地からは、清水 享 在サンパウロ日本国総領事、アリマ・マウロ サンパウロ州知事代理等の来賓を含め、約180人が出席。

・式典の冒頭、西村純子(にしむら じゅんこ)ブラジル福井県文化協会長は、「皆様の温かいご支援とご協力のお蔭で創立70周年を迎えることができた」と挨拶。

また、式典に併せて行われる福井県立大学、ブラジル福井県文化協会(県人会)およびコロナ・ピニャール(福井村)の三者による包括連携に関する協定の締結にも触れ、「これを機に、福井県とブラジルの福井県人がお互いの文化や交流を深め、特に若い世代の育成に力を入れて益々発展することを期待している」と述べた。

更に、1980年に始まったブラジルからの技術研修員受け入れ事業に感謝を述べ、「私も微力ながら皆様のご指導を頂きながら若い世代の育成に力を入れてまいります」と抱負を述べた。

・中村副知事は、同協会が70年にわたり、ブラジル連邦共和国と福井県を結ぶ重要な懸け橋となり、また、ブラジルでの福井県出身移住者の活動の拠点として大きな役割を果たしていることに触れ、歴代会長や会員の功績に感謝の意を表した。

また、ブラジルからの技術研修員の受け入れ数が累計 203名にのぼっていることを紹介し、「今後ますます福井県とブラジルとの交流が盛んになることを願う」と祝辞を述べた。

・県議会を代表して宮本議長は、「福井県とブラジルにいる皆様の絆を強く感じた。県議会としても、この絆がこれからもずっと続いて発展するよう支えていきたい。」と祝辞を述べた。

・式典中に行われた、福井県立大学・県人会・福井村の三者による包括連携に関する協定の締結式において、福井県立大学の岩崎学長は「次世代の担い手である学生

等の若い世代の国際交流を推進するとともに、日本とブラジルの相互理解の促進を図ることを目的としている」と協定の趣旨を説明した。

- ・式典の最後に、2023年に研修員として来県し県内の赤土善蔵アトリエで建築監理を学んだセト・ウィルソン・マサノリ氏が、技術研修員を代表して「この研修が40年も続いているのは、技術の継承だけでなく、そこで生まれる人間関係があるからだと実感した。温かく迎え入れてくださる福井県にはとても感謝している。今後もこの研修制度が続くことを願う」と謝辞を述べた。

5 その他

- ・式典後の記念祝賀会では、県内の菓子店で製菓技術を学び、現在サンパウロで洋菓子店を経営する技術研修員OGの作ったケーキでのケーキカットや、福井村の和太鼓クラブ「飛翔」の演奏、イッチョライ節の踊りなどが披露された。